

# 横浜市地域文化財登録候補推薦書

物 件 松ヶ崎横穴古墳群

所有者 神奈川県

所在地 横浜市港南区港南台9丁目（旧 港南台高校敷地内）  
（調査報告書による旧地番は：港南区日野町榎戸3801番地）

内 容 松ヶ崎古墳について『神奈川県埋蔵文化財調査報告 - 9 港南台』（1976年3月31日）には（p.156～158）、「上下二段に分列して8穴が開口」と記載されている。そこに「昭和45年3月発掘調査された七石山横穴古墳群は笠間町付近の広い平野を背景とした位置にあり、平野部の最奥にある松ヶ崎横穴群と対比して考察すれば、興味ある問題が提起されるのではないだろうか。 / 松ヶ崎横穴古墳群は開発より逃れて、現状保存されているのである。」とある。

また、『港南の歴史』（港南区制十周年事業で編纂）には5基の横穴墓が記載されている。つまり、この間に3基が失われたと思われる。

しかし、現状では、横穴が確認出来るものはわずか1基、半分道路に入って破壊されたと思われる穴の痕跡をとどめるものが1基、この二基のみである。人為的破壊のみならず、自然の風化や木の根の浸食も進んでいる。

私どもはこのままでは、松ヶ崎横穴古墳群が遠くない将来に完全に消滅してしまうのではないかと危惧している。

港南区ではほとんど唯一と思われるこの古墳が一旦消滅すれば、榎戸遺跡も港南台開発時に殆ど失われているだけに、港南区に古墳があったこと、そして私たちの祖先がこの地に住んだことの証拠を、住民わけても港南台を故郷とする子どもたちが目にすることが全くできなくなってしまうのではないか。地域への愛着や誇りを育てるのに大きなマイナスにもなるのではないか。私どもは絶対そうであってはならないと考える。

さらに、調査報告書に有るように 七石山横穴古墳群（現在すでに市文化財登録済み）との対比研究などの学問上でも、消滅させてはならないのではないか。そして、広く存在を知らせて行く必要があると思われる。

以上の理由で、県任せではなく、ぜひ松ヶ崎横穴古墳群を横浜市地域文化財に指定して頂きたい。そのためにも港南区として一層のご尽力を頂きたい。

所属（団体） 港南歴史協議会（歴史に学ぶ港南台の会 他8団体）

推薦者 馬場久雄、茅野真一、伊藤武

広畑成志、高橋ツタ、成田知子、藤沢信也、柳沢達雄、寺田宏子

（文責：寺田宏子）

2009（平成）年7月17日